

障害者計画改定に対する「当事者等の意見を聞く場」の開催結果(概要)

障害福祉課

	知的障害部門	精神障害部門	身体障害部門	児童部門	
日時	平成23年10月18日(火) 13:30～15:00	平成23年11月1日(火) 10:00～12:00	平成23年11月8日(火) 13:00～15:00	平成23年11月21日(月) 10:30～12:00	
場所	シビックセンター障害者会館A会議室	シビックセンター5階C会議	シビックセンター障害者会館C会議室	シビックセンター障害者会館C会議室	
参加人数	4人	約18人	5人	5人	
当事者	(施設利用者3人、たまり場1人)	(別に施設職員、傍聴が約13人)	(肢体、聴覚、視覚、内部疾患、親の会)	(児童保護者)	
委員	5人 (相談支援部会員2人、施設職員1人、区職員2人)	7人 (相談支援部会員2人、施設職員2人、区職員3人)	5人 (相談支援部会員3人、区職員2人)	6人 (施設職員1人、区職員5人)	
事務局	2人	2人	1人	2人	
主な意見	地域生活への支援 住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者年金や工賃など経済的な援助の拡充をしてほしい。 ・ショートステイ、グループホームなど施設の整備を希望する。 ・都営住宅や区営住宅の枠を等級の低い人にも広げてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者を主軸にしたニーズを、区と障害者が一緒に考えていくことが大事である。 ・長年住み慣れた地域で生活したいというのは、親がいなくなっても子どもを理解してもらえる人がいるということで大事である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの重点課題の部分に「地域」が抜けている。「子育てを地域で」という視点が必要では。 ・特別支援学級に限られた学校にしかない。特別支援学級を増やしてほしい。せめて歩いていける範囲に。 	
	相談支援 情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・相談相手は、就労支援センター、家族、施設職員を中心に行っている。 ・夜眠れなくて困っている。相談できる場所はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談業務を24時間体制にしてほしい。 ・障害者地域自立生活支援センターのピアカウンセリングに、精神障害者を入れてほしい。 ・区からの情報提供を充実してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談業務について、ワンストップサービスによるコーディネート機能を制度化してほしい。 ・住み慣れた地域で生活するためにはネットワーク機能が重要であると感じた。 ・文京区のホームページは選挙公報等、視覚障害者用ソフトでは対応できない内容がある。ちょっとした工夫で改善できるものもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談の内容によって、相談の窓口が変わる。分かりにくいので明示してほしい。 ・学校によって、対応が異なることがある。支援に当たる教員が、さまざまな支援の制度について理解を深めてほしい。
	就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・たまり場が月1回だが、もっと集まるとよい。 ・就労を目指している人にも、たまり場があればよい。 ・仕事探しはプレッシャーもありづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援A型など施設の整備を希望する。 ・図書館等の区役所業務のアルバイト、インターンシップを拡充してほしい。 ・就職してもうまくいかない人がいる。就職の直前直後の支援をしてほしい。 		
	ひとにやさしいまちづくり 震災対応	<ul style="list-style-type: none"> ・地震など今後、何かあったときにどうするか家族で話して、避難場所を決めた。 ・避難について話し合っていない。家が壊れたらどうしたらいいかわからない。 ・余暇を過ごす友達がいない。知りあう機会もない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・震災時の薬、水の確保をしてほしい。 ・緊急時の避難場所がわからなかった。区内に避難場所がわかる看板がほしい。 ・震災時の帰宅困難者の対応をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要援護者名簿の登録については防災課だけでは難しいので、障害を理解している障害福祉課と連携してほしい。 ・内部障害は外見ではわからないため周囲の理解が得にくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心のバリアフリーを目指すなら、子どものうちから地域の学校で一緒に学んで、育っていく環境を過ごしていくことが最良。大人になってから、心のバリアフリーを理念で求めるよりも、実効性が高いと感じる。
	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・こういう意見会をまた開いてほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・障害者計画に書いてある内容は素晴らしい。しかしこれが実現しないのでは意味がないので、実現するようお願いしたい。